2022 年　初春　第 71 号

山本のぶあき
県政だより

寅年に
世界遺産の
想い込め
桜満開
南都復活

奈良県議会議員
山本のぶあき

ごあいさつ

謹賀新年

今年は寅年、私は午年生まれのため、いつも虎の強さに憧れていました。この寅年に、虎のように逞しく、チャレンジ精神を持って、一年をまっしぐらに歩みたいと思います。

昨年は、コロナ禍の中、県議会議長としての職務を７月に無事に終えることができました。コロナ対策にとても真面目に取り組むわが国では、10 月頃から感染者数も少数で推移するようになり、少し落ち着いた日々を過ごし始めることができました。しかし、新しい変異ウイルス「オミクロン株」の感染が世界各国で確認され、先行きを誰もが心配しながらの年末となりました。

今年は、それらのことを乗り越えて、奈良県でも観光をはじめとする経済の回復を目指して、２月議会において、新年度予算審議から県議会定例会をスタートいたします。

特に力を入れるのは、南部・東部の振興推進です。県会議員になって以来、言い続けている「橿原市を中心として奈良県中南部を、南都として復活させる！」この決意を、新春に改めて胸に刻んでいます。

昨年の嬉しいニュースの中から一つ紹介します。

橿原市出身の琴裕将関（佐渡ケ嶽部屋）が、11 月に行われた九州場所での好成績により、新十両に昇進されたことです。地元からしっかり応援していきたいと思います。

皆様にとりましても、今年が素晴らしい一年になりますことをご祈念申し上げ、令和４年新春のご挨拶とさせていただきます。

「琴裕将関」～橿原市から大相撲新十両昇進！～

新十両に昇進された琴裕将関が、師匠の佐渡ケ嶽親方と共に、県庁（荒井知事・荻田県議会議長）と橿原市役所（亀田市長・原山市議会議長）を表敬訪問されました。橿原中学校卒業の 27 歳、平成 28 年三月場所が初土俵。「良い相撲を取ってみんなに元気を与えていきたい」と抱負を述べ、１月９日から始まる両国国技館での一月場所での二桁勝利を目指されます。

みんなで応援しましょう！！